

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 074	提案機関名 JA全農神奈川県本部
要望問題名 都市畜産業における羊の可能性について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 新型コロナウイルス感染拡大以降、ウクライナショックも相まって、牧草・配合飼料価格の高騰などが畜産農家経営に大きな影響を及ぼしている。 また、堆肥が十分に活用されていないこと、浄化槽の老朽化等により糞尿の処理について今後大きな課題となってくると思われる。 そこで、都市畜産業の新たな畜種として飼料効率が比較的高く、環境負荷が牛・豚に比べて低い羊について、以下の研究をお願いしたい。 (1) 羊肉の利用や羊毛を原料にした農業資材の開発（生分解マルチなど） (2) ペレット状で排出される糞の活用（施設園芸の加温機燃料など） (3) 経営が成り立つのかどうか	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター 畜産技術センター	担当部所	生産技術部 企画指導部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	対応の内容等 羊毛を原料にした農業資材の開発や糞の燃料としての利用は、未利用資源の有効活用という点で重要なご提案ですが、農業技術センターの所管外のため、実施不可とします。 めん羊の飼養を開始するためには、導入、と畜、販売まで生産者自身で開拓しなければなりません。めん羊の導入は、飼養生産者との相対取引となるため価格は不安定となり、導入頭数も限定されます。と畜場は県内にないため、山梨県、長野県等の県外施設への持込みで対応してもらえるか確認する必要があります。販売価格は羊肉を取扱うレストラン等と個々に契約するため、一概には言えませんがラム(1年未満)で枝肉30kg 3～10万円程度です。飼養には他に土地代、畜舎建設費、餌代、光熱水費、医薬品消毒薬費、燃料費等がかかり、これらの費用に見合う収入は得られないと考えており、実施不可とさせていただきます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			